

としょかんつうしん (こどもばん)

2023ねん9がつ

No.222

おはなし会のごあんない

★土曜日 11:00～

9月 2日・9日・16日・30日

1階たたみコーナーで行います。予約不要です。



小学生の参加も大かかげいです！

としょかんニュース

読書の秋「私のペースでしおりは進む」

読書の秋が近づいてきました。虫の鳴く声をききながら本を読んでいると、おだやかな気持ちになりませんか？

今年の読書週間の標語は「私のペースでしおりは進む」です。「自分は人よりも、読むスピードが遅い。だから読書は苦手。」と言って本を読まない人は、もったいないですよ。

人とくらべず自分のペースで、本と向き合う時間を楽しむことが読書を好きになるひけつだと思えます。

今年の秋は、あなたのペースで、読書を楽しんでください。

<図書館カレンダー>



がお休みの日です

<開いている時間>朝10時から夕方6時まで

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



本が泣いていないかな？
図書館の本を大切にしようね。

本を入れるバッグを
もってきてね！





あたらしくはいった ほん



【 今月の特集 】

防災(ぼうさい)

<p><よみもの・ていがくねんむけ></p> <p>『月のボールであそぼうよ』 つき エド・フランク／作 テー・チョンキン／絵 鶴木 桂／訳 徳間書店</p>	<p><よみもの・ていがくねんむけ></p> <p>『コグニのはじまり』 いとう ひろし／著 あすなる書房</p>	<p><読みもの・中学年むけ></p> <p>『意味がわかるとゾツとする 怖い博物館』 いみ こわ はくぶつかん 緑川 聖司／作 新星出版社</p>
<p><読みもの・中学年むけ></p> <p>『じゅげむの夏』 なつ 最上 一平／作 マメイケダ／絵 佼成出版社</p>	<p><読み物・高学年向け></p> <p>『ガリレオ vs. メタルの魔術師』 まじゅつし 東野 圭吾／著 うめ／画 文藝春秋</p>	<p><読み物・高学年向け></p> <p>『図書館がくれた宝物』 としょかん たからもの ケイト・アルバス／作 榎田 理絵／訳 徳間書店</p>
<p><えほん></p> <p>『ようかいむらのきもだめし キャンプ』 たかい よしかず／作・絵 国土社</p>	<p><えほん></p> <p>『心をひらいて、音をかんじて』 こころ おと シャノン・ストッカー／文 デヴォン・ホルズワース／絵 中野 怜奈／訳 光村教育図書</p>	<p><えほん></p> <p>『ノギリザメのなみだ』 長 新太／作・絵 フレーベル館</p>
<p><えほん></p> <p>『アマガエルのうた』 谷口 智則／作 アリス館</p>	<p><えほん></p> <p>『宿場町の一曰』 しゅくばまち いちにち いわた 慎二郎／作・絵 講談社</p>	<p><えほん></p> <p>『トットちゃんの15つぶの だいち』 黒柳 徹子／原案 柏葉 幸子／文 松本 春野／絵 講談社</p>
<p><ちしき></p> <p>『ぼくは本のお医者さん』 ほん いしや 深山 さくら／文 佼成出版社</p>	<p><ちしき></p> <p>『長崎出島に、激震！』 ながさきでしま げきしん 小西 聖一／著 中山 けーしょー／絵 理論社</p>	<p><ちしき></p> <p>『超こども言いかえ図鑑』 ちよう い ずかん 川上 徹也／著 小川 晶子／著 Gakken</p>

ぼうさいいつ にちようび 『防災室の日曜日』

(村上 しいこ／作 田中 六大／絵 講談社)

まんねん小学校の防災室には、地震や台風などにそなえて、食べ物や防災グッズが置かれています。ある日曜日、防災室では「ひじょう食」のチョコレートをかこんで、話し合いが始まりました。



『あのとき、そこにきみがいた。』

(やじま ますみ／作・絵 ポプラ社)

2016年4月、熊本を巨大地震がおそいました。大人たちが絶望して座りこむ中、被災者に水や食料を運んでいたのは、中学生でした。このような本を読んで、災害が起きた時、自分はどのような想像するのも、大事な防災のひとつかもしれませんね。



このほかにもあります。予約もできますので、ご利用ください。